

問1 千葉県における「生活系ごみ」と「事業系ごみ」の排出状況の変化について、平成10年度と28年度の数値を比較した際の特徴として正しいものはどれですか。（2019年 千葉県公立入試 類似）

1. 家庭から出る生活系ごみの削減が進んでいる一方で、排出量全体に占める事業系ごみの割合は高まっている。
2. 事業系ごみの排出量が大幅に減少した結果、ごみの排出量全体に占める生活系ごみの割合が9割を超えている。
3. 生活系ごみと事業系ごみの双方が増加したことにより、1人1日あたりのごみ排出量の合計は過去最高を記録している。
4. 事業系ごみの排出量は全国平均よりも常に少なく抑えられているため、リサイクル率が全国で最も高い要因となっている。

問2 日本の農業統計において、ピーマンやほうれん草の収穫量が全国1位、はくさいが全国2位となっている茨城県では、その地理的条件を活かした農業が盛んです。東京などの大消費地に隣接しているという利点を最大限に活用したこの農業形態の名称として、最も適切なものはどれですか。（2024年 福井公立入試 類似）

1. 近郊農業
2. 促成栽培
3. 抑制栽培
4. 地産地消

問3 関東地方の産業について述べた次の文のうち、京浜工業地帯の説明として最も適切なものはどれか。（2022年 青森県公立入試 類似）

1. 東京都と神奈川県にまたがり、東京湾臨海部の埋立地などに多くの工場が立地している。
2. 千葉県の東京湾岸に広がり、石油化学コンビナートや製鉄所が集中している。
3. 内陸部の高速道路沿いに工業団地が造成され、機械工業が発達している。
4. 愛知県を中心として広がり、自動車産業が盛んで日本最大の製造品出荷額を誇る。

問4 2万5千分の1地形図「鎌倉」を用いて、逗子駅から田越川を渡り、砂浜が広がる逗子海水浴場付近までの地形的な特徴を確認しました。地形図において、海岸線（砂浜）と市街地の境界付近に位置する地点の状況を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2025年 東京都公立入試 類似）

1. 等高線が非常に密になっており、海に面した急峻な崖が続いている。
2. 土地利用が針葉樹林から果樹園へと変化する緩やかな傾斜地である。
3. 市街地、河川、海岸線の三つの要素が非常に短い距離で近接している。
4. 大規模な干拓事業によって造られた、海面より低い平坦な農地である。

問5 栃木県、群馬県、千葉県、茨城県などの関東地方の各県は、乳用牛の飼育頭数が全国でも上位に入っています。これらの地域で酪農が盛んな理由として、最も適切な説明はどれか、次の中から選びなさい。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 広大な土地と冷涼な気候を活かし、大規模な放牧による飼育を行っているため。
2. 大消費地に近いという利点を活かし、生乳を短い時間で輸送できるため。
3. 都市部から排出される加工食品の残さを、主な飼料として安く調達できるため。
4. 冬の積雪量が多く水資源が豊富であり、牛の飲料水を確保しやすいため。

問6 日本の諸地域のうち、関東地方の北西部に位置する群馬県の特徴を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2015年 岐阜公立入試 類似）

1. 県庁所在地である前橋市は、古くから生糸の集散地や製糸業の中心地として栄えた。
2. 県庁所在地である高崎市は、官営模範工場の設置をきっかけに工業都市として発展した。
3. 県庁所在地である富岡市は、世界文化遺産に登録された製糸場を中心に観光業が盛んである。
4. 県庁所在地である伊勢崎市は、繊維業の伝統を背景に現在の県政の中枢となっている。

問7 関東平野の台地に広がる関東ロームの層において、古くから稲作よりも野菜などの畑作が盛んに行われてきた理由として、土壌の性質の観点から最も適切な説明はどれですか。（2021年 静岡公立入試 類似）

1. 火山灰が堆積してできた土壌で、水はけが非常に良いため、水田に必要な水を溜めにくい。
2. 河川が運んだ泥でできた粘土質の土壌で、水持ちが良すぎて稲の根が腐りやすい。
3. 海岸近くの砂地が隆起した土壌で、塩分を多く含んでいるため稲の生育が妨げられる。
4. 有機物を多く含んだ黒い土壌で、地力が強すぎて稲の茎ばかりが成長してしまう。

問8 関東地方の1都6県における人口動態を分析した資料によると、昼夜間人口比率が東京都は100を大きく超える一方で、埼玉県は100を大きく下回り、群馬県は100に近い値となっています。この統計結果から読み取れる内容として、適切な記述はどれですか。（2023年 和歌山公立入試 類似）

1. 埼玉県は、東京都など県外へ通勤・通学する人が多いため、昼間人口が夜間人口よりも少なくなっている
2. 群馬県は、東京都への通勤・通学者が非常に多いため、埼玉県よりも昼夜間人口比率が低くなっている
3. 東京都は、夜間に住んでいる人口が昼間に活動している人口よりも多いため、比率が100を超えている
4. 関東地方のすべての県において、昼間人口が夜間人口を上回っており、都心への集中が緩和されている

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 家庭から出る生活系ごみの削減が進んでいる一方で、排出量全体に占める事業系ごみの割合は高まっている。	千葉県のごみ排出量の内訳をみると、合計の排出量は減少していますが、その中身には変化があります。家庭から出される生活系ごみの量が減少している一方で、オフィスや飲食店などから出る事業系ごみが全体に占める比率は微増しており、今後のごみ減量に向けた課題の一つとなっています。
問2	<b>答え 1</b> 近郊農業	茨城県は関東平野に位置し、巨大な消費地である東京都心に近いという地理的優位性を持っています。このように、都市の周辺で新鮮な野菜などを生産し、輸送コストを抑えて供給する農業は「近郊農業」と呼ばれます。これにより、消費者は鮮度の高い農産物を比較的安全に購入ことができ、生産者は輸送時間を短縮できるというメリットがあります。
問3	<b>答え 1</b> 東京都と神奈川県にまたがり、東京湾臨海部の埋立地などに多くの工場が立地している。	京浜工業地帯は、その名の通り「東京」と「横浜（神奈川）」を中心とする工業地帯である。選択肢にある千葉県側は京葉工業地域、内陸部は北関東工業地域、愛知県周辺は中京工業地帯の説明であるため、それぞれの位置関係を正しく把握しておく必要がある。
問4	<b>答え 3</b> 市街地、河川、海岸線の三つの要素が非常に短い距離で近接している。	逗子駅周辺の地形図では、駅から商店街（市街地）、田越川（河川）、そして逗子海水浴場（海岸線）が南北に連続して配置されています。このように、異なる地理的要素が狭い範囲に集まっているのがこの地域の大きな特徴です。
問5	<b>答え 2</b> 大消費地に近いという利点を活かし、生乳を短い時間で輸送できるため。	関東地方は東京などの人口が集中する大消費地を抱えており、鮮度が重視される生乳を短い時間で効率よく輸送できる「近郊農業」の特色を持っています。広大な土地や冷涼な気候を条件とするのは主に北海道の酪農の特徴であり、関東地方の酪農は市場へのアクセスの良さを最大の武器としています。
問6	<b>答え 1</b> 県庁所在地である前橋市は、古くから生糸の集散地や製糸業の中心地として栄えた。	群馬県は古くから養蚕や製糸業などの絹産業が盛んな地域でした。その中心都市である前橋市は、現在も県庁所在地として行政・経済の拠点となっています。高崎市は交通の要所、富岡市は富岡製糸場の所在地ですが、いずれも県庁所在地ではありません。
問7	<b>答え 1</b> 火山灰が堆積してできた土壌で、水はけが非常に良いため、水田に必要な水を溜めにくい。	火山灰からなる関東ロームは粒子が細かく、透水性（水を通す性質）が非常に高いのが特徴です。そのため、地表に水を溜める必要がある稲作には不向きであり、代わりに排水の良さを活かした野菜栽培などの畑作や、果樹園、茶園として広く利用されてきました。
問8	<b>答え 1</b> 埼玉県は、東京都など県外へ通勤・通学する人が多いため、昼間人口が夜間人口よりも少なくなっている	埼玉県は東京都に隣接しており、都心へ通勤・通学する人々が住むベッドタウンとしての役割を担っています。そのため、昼間は県外へ人口が流出しており、比率が100を大きく下回ります。これに対し、群馬県などは東京都から距離があるため、県外への通勤・通学の影響が埼玉県ほど大きくなく、昼夜の人口差が小さいため比率が100に近くなります。